

登録コード:MH188300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	成人看護学実習Ⅱ（看護の実践と統合）【22M以降】 Clinical Practice in Adult Health Nursing Ⅱ		
担当教員	新井 清美 他 岡島 志野・北條 由美乃・近藤 協子・笠原 邑斗		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/3年 後期(集中) 集中・不定期		
単位数、講義室	4単位	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH22カリ・保健		
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。	⇔	患者およびその家族を多角的に捉え、個別性のある看護を実施することができる。 既習の知識・理論をもとに、疾病を抱え、治療を受ける患者およびその家族が、変化していく健康状態に対処し、疾病・治療とともに生きることを支援するための看護を理解することができる。
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。	⇔	健康障害を有する患者と家族の状況を分析して、必要な支援を判断することができる。 患者の個別性を重視し、健康レベルに応じた看護を探索していくことができる。
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	⇔	言語的・非言語的コミュニケーションから、患者の個別性に応じた支援を判断することができる。
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。	⇔	看護実践を振り返り、保健医療福祉チームメンバーの一員として適宜報告・連絡・相談することができる。 日々の計画や報告、カンファレンスにおいて自己の考え、実践した看護を表現し、他者にわかりやすく伝えることができる。 看護学生として責任ある行動をとり、自己の課題に問題解決的に取り組むことができる。
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護		
	＜基礎的・専門的な知識と技能＞看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	異なる健康レベルにある対象と家族の状況を分析して、必要な支援を判断することができる。
	＜科学的探求力＞変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔	保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族の課題に対して、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく基礎的能力を研鑽し、健康レベルに応じた看護を探索することができる。
	＜問題解決力＞保健・医療・福祉の場で生じる多様な情報を、科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに関係者に伝えることができる。	⇔	保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族を身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から全人的に捉え、健康問題・課題を明確化し、チーム関係者と共有することができる。
授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	本実習は、病棟で健康障害を有する患者を受け持ち、既習の知識・理論・技術を活用して患者と家族を多角的に理解し、継続的な看護を実践するための知識、技術、および態度を修得します。さらに、患者および家族を含む医療チームへの参画を通して、質の高い看護を探索していく姿勢を育みます。さらに、選択実習を通して、多様な臨地の場で異なる健康レベルにある患者と家族を支援する看護を学びます。 本実習は、2年次に学んだ「成人看護学概論」、「成人臨床看護論」、「成人看護健康論Ⅰ・Ⅱ」、3年次前期に学んだ「成人看護方法論」の知識及び技術を前提としています。そして、臨地実習「成人看護学実習Ⅰ（看護の実践と応用）」を発展させ、統合する実習です。 本実習では担当教員の看護師としての実務経験を活かした指導を行います。		
授業計画	本実習は、シミュレーション実習を含めた病棟実習（以下、病棟実習）3週間、および関心の高い健康レベルから1つを選択して学びを深める選択実習（以下、選択実習）1週間、計4週間で構成されています。 ＜病棟実習＞ 1. シミュレーション実習（学内）：2026年9月14日（月）～9月18日（金） 1日目：成人看護学実習Ⅰでの経験の共有とそれに基づきシナリオを作成 2日目：シナリオを演じる練習、発表 3日目：救急看護（ゲスト講師予定）、BLS演習 4日目：外来看護（ゲスト講師予定）、病棟実習および選択実習に関連した演習 5日目：各論実習に共通する看護技術の練習、成人看護学実習Ⅱオリエンテーション		

授業計画	2. 病棟実習（信州大学医学部附属病院） 1クール：10月 5日（月）～10月16日（金） 2クール：10月19日（月）～10月30日（金） 3クール：11月 2日（月）～11月13日（金） 1～2日目（臨地）：受持ち患者の情報収集・情報の整理・アセスメント、学生カンファレンス 3日目（学内）：受持ち患者の情報整理・アセスメント・看護計画立案 4～5日目（臨地）：受持ち患者のケア（患者情報収集・アセスメント・看護計画立案と検討）、看護・医療チームメンバーのスタッフカンファレンス参加、学生カンファレンス 6～7日目（臨地）：受持ち患者のケア（看護計画の実施・評価・修正）、看護・医療チームメンバーのスタッフカンファレンス参加、学生カンファレンス 8日目（臨地・学内）：受持ち患者の看護計画実施、看護・医療チームメンバーのスタッフカンファレンス参加（臨地）、看護計画の評価・修正（学内） 9日目（臨地）：受持ち患者のケア（看護計画の実施・評価・修正）、病棟最終カンファレンス 10日目（学内）：実習のまとめ ＊1週目に祝日があるクールは学内実習は行わない <選択実習> 2027年1月8日（金）1～3限（予定） 全体および選択別実習オリエンテーション 2027年1月25日（月）～1月29日（金） 選択した健康レベルのテーマ別にローテーションして実習します（別途提示） 1～3日目は選択実習ごとに学生カンファレンスを行います 4日目は選択実習ごとに実習指導者を交えた最終カンファレンスを行います 5日目は異なる健康レベルの実習をした学生と合同でまとめのカンファレンスを行います（学内） [クリティカルケア実習] 実習施設：信州大学医学部附属病院、相澤病院、松本広域消防局管内消防署・出張所 1～4日目（臨地）：救命救急センター・集中ケア病棟・初療室・救急自動車の何れかを各1日実習します [周手術期ケア実習] 実習施設：信州大学医学部附属病院 1～4日目（臨地）：手術室は2日、術前外来／術後訪問・HCUは各1日実習します [回復期ケア実習] 実習施設：相澤病院、相澤東病院、信州大学医学部附属病院 1～4日目（臨地）：回復期ケアに関連する異なる4か所の病棟において、各1日実習します [継続・慢性期ケア実習] 実習施設：信州大学医学部附属病院、相澤病院 1～4日目（臨地）：外来は2日、通院治療室・透析センターは各1日実習します [終末期ケア実習] 実習施設：丸の内病院、諏訪中央病院、長野中央病院 1日目（臨地）：病院オリエンテーション、緩和ケア病棟等での看護活動に参加します 2～4日目（臨地）：緩和ケア病棟等での看護活動に参加します ＊選択実習の希望調査は「成人看護学実習Ⅰ」の終了後に行う予定です。 ＊実習最終日に授業アンケートを実施します。
授業の進め方	<病棟実習> 健康障害を有する患者を受け持ち、看護過程を展開します。病棟の看護スタッフカンファレンスに参加し、学生が立案した看護計画を検討・共有することで、看護チームの一員として実践に参画します。また、手術室や集中治療室などの治療の場に同行し、そこで得られた学びを病棟における看護実践に活かします。 <選択実習> クリティカルケア、周手術期ケア、回復期ケア、継続・慢性期ケア、終末期ケアの中から1つを選択し、健康レベルの異なる患者・家族を対象としたテーマ別実習を行います。 実習最終日には、異なるテーマを選択した学生と合同で「まとめの会」を実施し、看護実践を通して得た学びや課題を共有・統合します。 <共通> 日々カンファレンスを実施し、グループメンバーで学びを共有します。
テキスト、教材、参考書	<参考書> 成人看護学概論、成人臨床看護論、成人看護方法論、成人看護健康論Ⅰ・Ⅱで用いたテキスト、および授業で配布した参考資料を活用します。
成績評価の方法	看護の実施内容、実習記録、実習態度、カンファレンスへの参加度や内容を成績評価の対象とし、成績評価の基準に従って総合的に評価します。
成績評価の基準	実習評価項目①援助的な人間関係の構築、②患者の全体像の把握、③個別性に応じた看

成績評価の基準	護計画の立案、④個性に応じた援助計画の実施・評価・修正と看護チームへの参画、⑤チーム医療と看護師の役割の理解と医療チームへの参画、⑥自己の看護活動の言語化および他者との共有、⑦実習に取り組む姿勢、について、「卓越している（秀）」＝主体的・積極的に適切な判断のもとに実施でき、看護を発展できる／「かなり上にある（優）」＝必要時支援を主体的に得ながら自ら展開する力がある／「やや上にある（良）」＝支援者の指摘により必要な自己の学修課題を見出し自ら取り組むことによって学習目標を達成できる／「水準にある（可）」＝学習する上での課題や方法について指導を受け、実習目標を達成できる、と評価します。 総合評価60点以上の評点を得たものを合格とし、総合的評価の判定基準は下記の通りとします。 90-100点（％）：秀 80-89点（％）：優 70-79点（％）：良 60-69点（％）：可
事前事後学習の内容	【事前学習について】 実習前オリエンテーションで提示される事前課題に取り組み、3年次前期までに修得した知識・技術を復習したうえで、実習に臨んでください。また、実習中は、実習指導者や教員からの学修に関するアドバイスを踏まえ、必要な学習に取り組みながら実習を進めてください。 【事後学習について】 実習中または実習後に日々の振り返りを行い、実習指導者や教員と学修内容を確認しながら、主体的に取り組んでください。また、翌日の実習では、振り返り学修の成果を確認します。学修した内容や成果については、記録として整理し、提出してください。 本授業の単位修得には180時間の学修が必要です。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	後期から始まる成人看護学実習Ⅱに進むためには、3年前期までの必修科目単位をすべて修得していることが条件となります。 異なる臨地での看護を学ぶ貴重な学修機会となりますので、主体的な取り組みを期待します。体調を整えて休まずに実習に臨んでください。 実習中の質問・相談への対応：随時各担当教員、または新井清美 k_arai@shinshu-u.ac.jp が対応します。